

ANA、メドエア社の Aviation Security 情報サービス導入に向けた 提携契約を締結

全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上 慎一、以下「ANA」)と国際ナショナル SOS(日本法人本社:東京都港区 代表取締役 マーク・アタウェイ)のグループ会社である MedAire Inc.(以下「メドエア社」)は、トップレベルのセキュリティ情報サービスである、Aviation Security 情報サービス導入に向けた提携契約を締結いたしました。

昨今、世界各地で地政学的不安定性が顕在化している状況の中、飛行経路上の保安リスクを把握することが重要な課題となっています。地政学的リスクに関する最新情報を提供しているメドエア社の Aviation Security 情報サービスを導入することにより、空域・空港などの最新の保安情報、治安情報、防衛状況など、あらゆる角度からのリスク分析を随時確認でき、一時的な迂回経路の設定など、具体的かつ迅速に航路上の保安リスクを把握することが可能となります。

メドエア社の Bill Dolny CEO は、「世界最高水準の航空セキュリティ情報を提供するパートナーとして、ANA に選ばれたことを誇りに思います。私たちの目標は、情報を即時に提供し、ANA がお客様と社員のために十分な情報に基づいて、迅速に、リスクマネジメント上の判断を出来るようにすることです。」と述べています。

また、ANA の梶木 晴史 航空保安部長は、「VUCA 時代の各種リスク環境下にあっても、常に安全な運航を保つため最新の情報・情勢を把握し、プロアクティブな対処対応を図る事が必須です。当社にとって安全は経営の基盤であり社会への責務です。ANA はお客様の安全、安心をより高める為、業界トップのセキュリティ専門家であるメドエアと提携しました。私たちはネットワークを拡大する際、専門知識と洞察力に富んだデータを活用して、常に安全を保証するために必要な情報に基づいて決定をしていきます。」と述べました。

本提携契約により、ANA とメドエア社は、さらなるお客様と社員の安全・安心を確保してまいります。

メドエアについて

国際ナショナル SOS グループの MedAire Inc.(メドエア)は、1985 年から世界有数の航空会社 180 社以上と 4,500 機以上のプライベート航空機、そしてフォーチュン 100 の 75%を含む企業に対して、渡航中の健康と安全をすべてカバーするトータル・ソリューションを提供しています。このトータル・ソリューションは、機内外を問わず、乗務員と乗客へのリアルタイムな健康と安全に関するアドバイスやアシスタンス、トレーニング、機器などを含んでいます。24 時間 365 日体制で救急医、看護師、航空保安の専門家へのアクセスを提供することにより、機内や地上で乗務員と乗客が、医療と渡航の安全に関する案件に対応する際のサポートをしています。

www.medaire.com

www.linkedin.com/company/medaire

国際ナショナル SOS グループについて

国際ナショナル SOS グループの使命は、世界中で働く従業員の皆様の健康と安全を支えることです。組織の持続可能な事業の実現のため、13,000 名の安全、医療、ロジスティクスおよびデジタルの専門家が、90 カ国 1,200 カ所以上で、24 時間 365 日お客様をサポートしています。

国際ナショナル SOS グループは 1985 年に設立され、今ではフォーチュングローバル 500 の 65%以上、世界で最もサステナブルな企業 100 社の 50%にあたる多くの企業、中小企業、政府機関、教育機関、NGO など、700 万人以上、約 9,000 社にアシスタンスサービスをご提供しています。

<http://www.internationalsos.co.jp>

報道機関からのお問い合わせ先

全日本空輸株式会社 広報部 TEL:03-6735-1111

国際ナショナル SOS ジャパン株式会社 広報 TEL: 03-4572-9626